

発行 = 21世紀教育研究所  
所長 中山和彦

〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-33-6  
TEL 0298-50-3321 / FAX 0298-50-3330  
E-mail econews@eri21.or.jp  
URL <http://www.eri21.or.jp>

ネットワークを利用したコンピュータ学習	余田義彦	1
- ホームページのご紹介 - “はなのき” ととも『飯田市立山本小学校』		2
ホームページで広がるコミュニケーション	飯田市立山本小学校 南波洋子	4
今年のメディアコーディネータ研修会の活動から		4
夏の研修会のお知らせ		7
うれしいメールをいただきました / つくば市立並木小学校が読売教育賞優秀賞		8

## ネットワークを利用したコンピュータ学習

共通の話題を「さがす」活動から、共通の経験を「つくる」活動へ

余田 義彦

最近、ネットワークを利用した授業の実践報告を読んでいますと、“交流学习”という言葉をよく目にします。この言葉と“共同(協同)学習”の違いについて解説を書いて欲しいという、難しい宿題を中山先生からもらってしまいました。

この宿題がなぜ難しいのかというと、“交流学习”という言葉が教育用語事典のどこを探しても載っていないものだからです。研究者がきちっと定義して使い始めた専門用語と違い、既存の用語との関係や定義が曖昧なままで教育現場に広まってしまった言葉なのです。そのため、“共同学習”との関係についても、同じものと捉えている人、別ものと捉えている人、上位概念と捉えている人、部分集合の概念と捉えている人など、様々な解釈があります。

“交流”という言葉を目にするとき、皆さんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか？私の場合、国際交流、文化交流、経済交流などの四文字熟語がまず最初に頭に浮かびます。そして、離れて暮らしているなどして面識のなかった者どうしが、人や文物の行き来を通して「ぎこちなさ」を残しながらも互いに相手のことを知り、身近な存在として感じ始めていく様子がイメージされます。“交流”は人間関係を形成していくときに行われる営みの一つなのです。

人間関係の形成過程について、社会学者の加藤秀俊は次のような段階があると説明しています(『人間関係』中公新書)。見知らぬ者どうしが出会ったとき、両者には不安や緊張状態が生まれます。それを乗り越えるため、最初にやることは相手をよく観察し、どのような相手か探ることです(第一印象の段階)。次に、名刺交換や自己紹介、世間話などを始め、互いの関心事を探り会話を通して打ち解けて行きます(共通の話題を「さがす」段階)。このときの人間関係は「おつき

あい」と呼べる程度のもので、互いに影響を及ぼしあう関係ではありません。この関係を「つきあい」と呼べるものへ、すなわち、やりとりを通して互いに成長して行ける関係へと発展させて行くには、一つの目的に向かって二人あるいはそれ以上の人間が共同作業をすることが必要になります(共通の新しい経験を「つくる」段階)。

ネットワークを利用した学習は、他者とのやりとりを通して展開される学習です。そのため、人間関係の形成過程と関連づけることで、共通の話題を「さがす」段階のものと、共通の新しい経験を「つくる」段階のものに分けることができます。例えば、お互いの学校や地域のことを紹介しあっている学習が前者の例となります。そして、学校間でやりとりをしながら共に課題を追究している学習が後者の例となります。

親しくなろうと努力しているときのやりとりについて、私たちは“交流”と呼ぶことがあります。しかし、仲間として共に何かに打ち込んでいるときのやりとりについては、そのような言い方をしないように思います。そのため、私は“交流学习”と言うと、共通の話題を「さがす」段階の学習を何となくイメージしてしまいます。ただ、これは私独自の解釈ですし、先で述べた理由により別の解釈があっても構いません。

重要なことは、そのような言葉の解釈でなく、やりとりの内容そのものです。ネットワークを利用した学習を相互啓発を含む深まりのあるものにしたいと思っているのであれば、共通の話題を「さがす」活動だけで終わらせるのではなく、共通の新しい経験を「つくる」活動へと発展させて行くことが必要です。学校間共同学習を計画されている学校は、そのような活動へと発展していく学習を計画しているか、今一度見なおしてみてください。(同志社女子大学教授)

## - ホームページのご紹介 - “はなのき”とともに 飯田市立山本小学校

長野県飯田市立山本小学校のホームページが、新世代情報通信フェア2002第2回長野県小中学校ホームページコンクールで最優秀賞を受賞されました。その表彰式で、山本小学校の南波洋子先生と児童の皆さんが、ホームページ作成への想いを発表されました。その様子をご紹介します。



山本小学校の子どもたちの、生き生きと学ぶ姿を紹介していこうと思い、開設したホームページ「はなのき」も3周年を迎えました。

このホームページは、学校や学級の特徴的な活動を紹介する『はなのきタイムス』と生活科や総合的な学習で行った学習の成果を学びあう場として編集した『地区探検コーナー』があります。

はなのきタイムスのメニューにある『花の木ニュース』は、学校行事や児童会活動の紹介を中心に載せてあります。

千恵子さん 亮大さん

児童会のページを紹介します。このページは、10個の委員会のページがあり、目的や中心活動などが載っています。これは、各委員会の委員長が委員会があるたにかいています。

花の木児童会 委員会だより

各委員会の委員長さんが作りました。委員会があるたびに活動したことを記録しています。題名をクリックして見てね。

番号	種別	題名	年月日	キーワード
1	紹介	平成14年度代表委員会	2002年06月04日18時19分	-
2	紹介	平成14年度環境委員会	2002年06月04日18時21分	-
3	紹介	平成14年度放送委員会	2002年06月04日18時22分	-
4	紹介	平成14年度図書委員会	2002年06月04日18時24分	-
5	紹介	平成14年度保健委員会	2002年06月04日18時24分	-
6	紹介	平成14年度総務委員会	2002年06月04日18時25分	-
7	紹介	平成14年度購買委員会	2002年06月04日18時26分	-
8	紹介	平成14年度安全委員会	2002年06月04日18時27分	-
9	紹介	平成14年度情報委員会	2002年06月04日18時28分	-
10	紹介	平成14年度福祉委員会	2002年06月04日18時29分	-

【図1】スタディノートデータベースで、委員会ごとに活動報告などを公開している。

今、代表委員会では、中国から来た人たちとどうすれば仲良くなれるかと、外で元気よく遊ぶにはどうすればいいかの2つを考えています。各クラスで意見をききました。これはホームページにも載せています。代表委員会では今後も活動の事を書く予定です。

それから児童会の行事のページでは、4月に行った

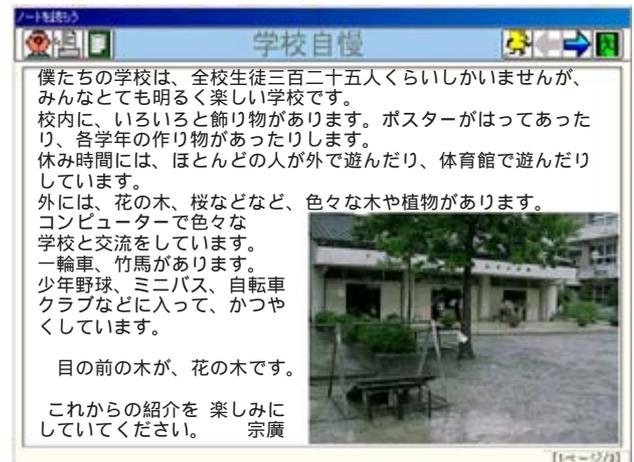
「1年生をむかえる会」の写真などがあります。この下には5月に行なわれた児童集会や図書委員会の発表、姉妹学級との交流の様子などをのせてあります。これらは、私がデジタルカメラで写真を取り、ページを作りました。

このページを全国の人に見てもらって、山本小はどんな学校なのか知ってもらいたいです。

次に、学校じまんのページです。

宗廣さん

ぼくは、学校じまんのページを作っていて分かった事があります。この山本小学校は、校庭から中庭までたくさんの自然にかこまれています。たとえば、松やいちょうなどがあります。とくにいいのは花ノ木で、山本小学校のシンボルにもなっています。冬には花はさきませんが、春から秋にかけては、花や種や葉の色がきれいです。ぜひこの山本小学校にも一度きてみてください。



【図2】宗廣さんの学校自慢

その他、この「はなのきタイムス」コーナーには、先生たちが作ったクラスだよりや先生だよりがあります。先生たちの個性あふれる手法で、クラスや教

科活動の内容が紹介されています。

また、交流だよりのページには、遠い学校とインターネットを通じて共同学習をした授業やそのときの学習の記録が載せてあります。

「地区探検コーナー」は、地域の自然探索活動や地域のくらしを考える学習の記録が豊富に載せられており、メニューにあるいろいろなジャンルで学べるようにしてあります。

次は、その中のひとつ、学校のシンボルの木であるハナノキの3年間の探検活動についてです。

古都乃さん

一年生のときふしぎなたねをみつけました。それで、こんなものがさくといいなあと思うものを絵にかきました。

二年生になって、ふしぎなたねが花の木のたねということがわかると、みんなで観察するようになりました。

たね、夏、秋、冬の花の木を絵にかいたり物語をかいたりしました。これは物語をコンピュータにまとめたものです。わたしのきにっている物語は、秋と冬物語です。

秋物語は、うさといううさぎとチュンという小鳥とぴよというひよこなどができて花の木のまわりであそんだりする話です。

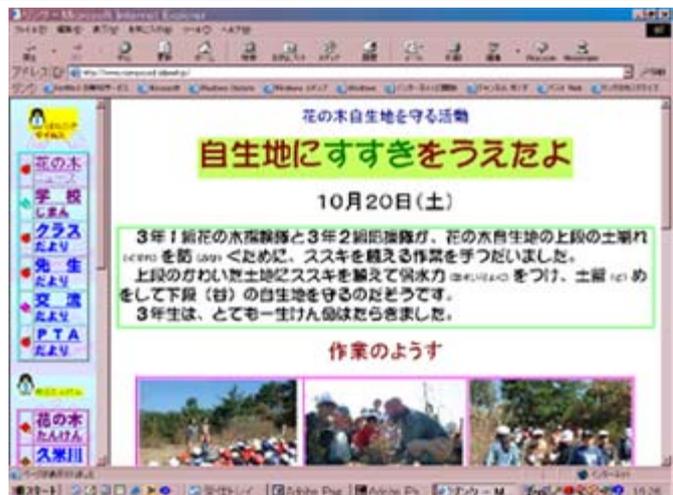
わたしは、花の木と話せたら、また遊べたらいいだろうなということを考えながらかいてた気がします。



【図3】古都乃さんのはなのきものがたり

勇人さん

3年生の時、花の木の先生北沢あさ子先生に出会いました。あさ子先生に「立入禁止」の自生地に入れ



【図4】花の木自生地を守る活動について。探検記録はスタディノートデータベースでまとめられています。

てもらいました。自生地に入れてもらった理由は、中を見たり、花の木たねをとって学友林に植えて花の木をたくさんふやしたかったからです。花の木のたねを育てるために必要な水ごけもたくさんとって自生地を出ました。自生地の中には花の木のほかにいろいろな植物がありました。これはぼくたちが自生地をたんけんしてしらべたかったことや分かったことをまとめたものです。花の木ってどんな木なのか花の木が育つ条件は何なのか花の木をどうやって育てるのかなどまとめました。

次は花の木を守るためにすすきを植えました。どうしてすすきを植えたかという土がくずれないようにするためです。みんなで重いすすきを運んですすきを植えました。そして植えた花の木の芽がでてくると、はちに植えかえました。はやく学友林に植えて山本を花の木でいっぱいになりたいです。

私自身も、子どもたちといっしょにハナノキ探検活動をしてきて、自然の持つ神秘さに感動したり、自然を守る人々の心に触れることができ、かけがえない体験ができたと思っています。

子どもたちには、体験し学んだことを発信する学習活動を通して、自分たちの住んでいる地域や身の回りのもの・ことを見つめる芽が豊かに育てられていくことを感じます。地域に学び、地域の良さを感じ、人の心に触れる活動を今後も進め、発信していきたいと思います。



この記事は、新世代情報通信フェア2002第2回長野県小中学校ホームページコンクールの表彰式で、山本小学校が発表されたプレゼンテーション原稿をもとにまとめました。

## ホームページで広がる コミュニケーション

飯田市立山本小学校  
南波 洋子

学校や学級の特色ある活動の紹介、また総合的な学習の時間等で行った地域の自然環境や暮らしについて調べたり体験したりして得た学習の成果は、単に発信することが目的でなく、校内での学び合いの場にしたいという強い願いがあります。校内で見合い情報交換し合い、自分たちの地域や学校のことをだれもが堂々語れるようになって、はじめてホームページとしての価値が出てくるのだと思っています。

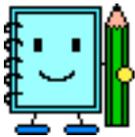
プレゼンテーションをした子どもたちは、紹介した内容について自分なりの思いを堂々と語ることができました。自分たちの活動を広く紹介したい、という思いや、地道な体験学習を通して得た成果は、子どもたちの大きな財産になり始めていると感じます。

受賞理由に「先生と子どもたちが一体となって一生懸命つくっている。児童の絵や写真を豊富に盛り込みわかりやすくまとめたたんけんコーナーは楽しく見ることができ、説得力のある表現」とあります。これは、これまで、各学年の何人もの先生方が、コンピュータを活用した授業実践や児童会活動を行い、情報提供をしてきてくれたおかげです。

最近、地区探検をしていた3年生が、スタディノートで学校の回りの地図作りを始めました。子どもたちは、コンピュータの画面に出てきた地図と紙の地図を並べて「わーっおんなじだ！」と感嘆の声をあげ、探検してきたことを楽しそうに地図に表しはじめました。担任の先生の「今度は自分の力でやってみようと思うの。」という言葉にも大感激。昨年、私が中途半端で終わってしまった「学校周辺の地図作り」が、今度は確実に完成されそうです。子どもたちが感じとった手作りの地域情報、きっとほほえましいものになると期待しています。

さらに校内LANを敷設したのは、先生たちやPTAの方々でした。その結果、ネットワークを使って健康観察や児童会連絡ができるようになりました。先生たちや保護者の理解と協力がなければできないことでした。

ときどき保護者から、感想のメールが送られてきます。「クラスだよりを毎回楽しみに読んでいます。」「単身赴任をしているので、ふだんなかなか知ることのできない自分の子どもの学校の様子分かってありがたいです」という内容です。また、公民館活動に携わっている保護者から「公民館のホームページにリンクさせたい」という話をいただいたり、地域のケーブルTVの取材を受けたりしました。足もとである地域に徐々に浸透し始め、これから外とのコミュニケーションが始まるのだということを感じています。



## 今年のメディアコーディネータ研修会の活動から

- あなたのアイデアは私のアイデア -

5月18～19日に東京で開催された2002年スタディメディアコーディネータ研修会では、各地の研修会ノウハウを共有してより効果的な研修会にするために、参加された先生方の研修企画案をスタディノートのデータベースに登録し、意見交換を行いました。その中から効果的な研修会のためのアイデアや意見交換のいくつかをご紹介します。

・参加者の関心を呼んだ研修の「主な活動」案

研修会でどんな活動をすれば研修効果を上げることができるのかには、やはり関心が集まるようです。

(1)【親情報】倉敷市子どもとメール交換研修会  
[保証する成果] スタディノートの電子メール機能を使えば、学校間交流が「楽しく」「簡単に」できることを子どもとのメール交換によって実感してもらう。

各校の先生方が、スタディノートを活用できるように、コンピュータの推進委員の方に名簿登録の仕方、インターネットメールの設定などについて理解してもらう。

研修会名：子どもとメール交換研修会  
日程：平成14年9月某所  
保証する成果：  
スタディノートの電子メール機能を使えば、学校間交流が「楽しく」「簡単に」できることを子どもとのメール交換によって実感してもらう。  
各校の先生方が、スタディノートを活用できるように、コンピュータの推進委員の方に名簿登録の仕方、インターネットメールの設定などについて理解してもらう。

主な活動：  
1 メール交換の実際（実践例）  
2 旭丘小学校の子どもとメール交換・・・ライブ（実践）  
3 管理プログラムの使い方など

皆さんへ：  
提案・呼びかけ、アドバイスして欲しいこと、アイデア紹介  
子どもと実際にメール交換をすることによって、スタディノートの機能の一端を体験してもらう。

【ページ1】

【主な活動】 メール交換の実際（実践例） 実践：旭丘小学校の子どもとメール交換（ライブ） 管理プログラムの使い方など。子どもと実際にメール交換をすることによって、スタディノートの機能の一端を体験してもらう。

この企画案に対しては、研修に参加した先生方が実際に子ども達とメール交換するという活動が目玉されました。

【子情報1】（研修会の中で実際に）子どもと活動をするということにひかれました。わたしの学校では、ここ数年市民センターとの共同事業で、子どもたちが参加者に教えるという活動をしています。いっしょに活動をすることで、子どもたちも自信が付き、参加者も子どもと一緒に活動することで楽しくできると好評でした。この研修会でも、もしかすると子どもたちが先生より上手にできることもあるのではないのでしょうか。そうなると楽しいですね。

【子情報2】子どもとメールを交換することで、普段とちがった情報交換ができるかもしれませんね。職員室の壁を越えた対話の流れができるのですね。校長室の壁も越えると面白いかもしれませんね。

（2）【親情報】東海市コンピュータ利用実践研修会  
（中部スタディブレインズ）

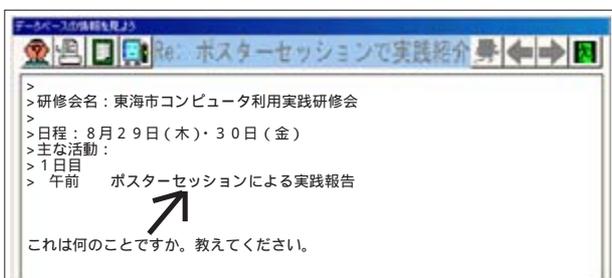
【保証する成果】 「私の教育実践」のイメージができる。 インタラクティブ・スタディのコースの感想がもてる。

【主な活動】ポスターセッションによる実践報告、実習（データベースの利用）、講演（余田先生の講演を希望）、体験（インタラクティブ・スタディのコース）

【皆さんへ】ポスターセッションをやるとみんなの実践がわかります。

【アイデア紹介】ビデオで研修会参加者の素顔を撮影し、それを投影して最後に振り返りをします。

【子情報1】「ポスターセッション」とは何のことですか。教えてください。



【子情報2】各自の実践をコーナーを設けて一斉に発表します。参加者のすべてが発表者になると聞き手がいなくなりますので、30人の参加者があれば5つのコーナーで、1回のセッションに15分として、6回90分を予定します。コーナーは部屋の壁面を使い、模

造紙やパネルなどに実践をポップ風にまとめ説明します。参加者は自由に発表者を選んで、聞くことができます。狭い部屋では話が混乱しますので、広めの部屋を用意します。街角でのバナナのたたき売りに似ています。

私たちの研修会では、A4判の資料を参加者に用意してもらい、受付で拡大機で模造紙大に拡大して使いました。発表者は自分の実践の概要をタイトル風に見出しをつけて、参加者を獲得する努力が必要です。充分時間を保証すれば、全員の発表を聞けますが、時間が限られているときはこの方法がいいです。

（3）【親情報】豊田市スタディノート研修講座  
（中部スタディブレインズ）

【保証する成果】静止画の貼り付け、音声の貼り付け、ジャンプボタンの貼り付け

【主な活動】インタビューをとおして友達を紹介しよう、授業略案の作成、発表会

この企画案では、「インタビューを通して」という活動に関心が集まりました。

【子情報1】私達は動画を用いた自己評価の活動を通して、参加者が授業に活かす研修を考えています。しかし、研修課題を決めかねています。インタビューを通して友達を紹介する研修課題をどのように決め出されたのですか？よいアドバイスがありましたら、お願いします。

【子情報2】インタビューを研修で体験させたいと考えた理由は、総合的な学習などで子どもたちはインタビューをしてくるのですが、先生方自身がインタビューを経験していないので何をどのように聞いて、どうまとめるとわかりやすいのか、わかっていない現実があります。他人から聞いたことを、自分たちなりに咀嚼して、再構成する過程に学習があると考えました。そんな学習の流れを先生方にわかっていただいて、授業に活かしていただきたい。できればそのツールとしてスタディノートを活用してもらえたらというのが、今回の研修のコンセプトです。当然、授業で使うことを前提としましたので、研修時間の中に授業案を作成してもらう時間とって、明日にでも授業ができるようなつもりで、計画をたてました。

・インタラクティブスタディを取り入れた研修会

今年各地で開催される予定のスタディ研修会では、新しいインタラクティブスタディの体験や教材作成を取り入れるところがあります。

（1）【親情報】コンピュータの教育利用夏季研修会  
（北海道ECHOの会）

【保証する成果】 Web C A I について、その仕組

みを理解する。スタディノートの体験を通して、その使い方がわかる。研修成果をデータベース化して、共有することができる。

[主な活動] インタラクティブスタディの体験(スタディライターfor Webの使い方、教材作成) スタディノートの体験(情報作成と共有・電子掲示板・電子メール・データベース)

[皆さんへ] 十勝・帯広ではこんなことをやる予定です。効果的な研修会にするために何かアイデア等がありましたら、教えてください。

【子情報1】CAIの研修会を心待ちにしています。やっぱり、実際に体験してみるのが一番!!

【子情報2】磐田市の研修計画も実はコース別で実施する予定なんです。大変参考になりました。受講生の欲求を満たしたいですね。がんばりましょう。教材作成体験のまえに、教材の分析・研究の大変さを伝えるかどうか???

#### ・ 交流の相手探し

参加された先生方の目的の一つは、学校や地域を越えた交流の相手探しです。いろいろな共同学習の提案や、遠隔共同研修会の提案がありました。

(1)【親情報】愛媛夏季地域研修会

[保証する成果] 映像資料を使ってノートを作成し、メールでやりとりできるようになる。自分でも授業で使えそうだと思う。データベースの作り方が簡単だとわかり、自分でも出来そうだと思う。2学期から学校間交流をやってみようという気になる。

[主な活動] 授業実践の紹介、ノートの基本的な操作、データベースの使い方と作成、学校間交流の相談

[皆さんへ] 愛媛はスタディの導入校が少ないので、交流の相手になってください。

【子情報1】学校間交流の相談:うちもそうなんです。近くでは町内の養基小学校と2校だけ、みんなのアドレス帳に出てるのは、谷汲小を入れて3校。でも3校からはじめてみようと思っているのです。でもいいテーマが見つからなくて困っています。

【子情報2】どんなテーマで交流するのですか?可能なら、交流学習をしてみたいです。

(2)【親情報】仙台市コンピュータ利用研修会  
(みちのくスタディの会)

[保証する成果] スタディノートのよさに触れることができる。スタディノートを利用した実践を知り、今後の活動に生かすためのポイントを知ることができる。スタディノートの良さに触れることから、利用してみようという意欲を持つことができる。スタディノートの最新情報に触れることができる

[主な活動] 事例発表「総合的な学習に生かすス

タディノート」「学校紹介」のデータベースを作成し、感想を交換し合う。マップシステムを利用したウェビング、データベースの作成

[皆さんへ]みちのく研主催の研修会は、すべて温泉のある会場で行っています。頭と心のリフレッシュをしながら、日ごろの疲れをいやししましょう。

[アドバイスして欲しいこと]とりあえず活動を「学校紹介」のデータベース作成と考えましたが、学校間交流に発展できるようなネタなどありましたらお教えてください。

【子情報1】温泉がうらやましいです。「学校紹介」では子どもの活動を中心にした紹介を作成したり、学級の取り組みを紹介したりして、子どもたちが他の学校の人に質問したくなるようなものにしたらいかがでしょうか。

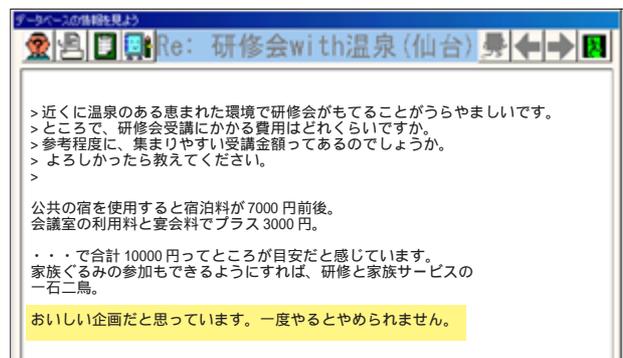
【子情報2】いいアイデアですね。信州の南にも温泉がありますので、考えてみたいと思います。

私がやりたい地域研修の日は、9月28日です。ちょうど同じ日に予定されているので、ぜひ遠隔地共同学習ができるとうれしいなあと思っています。企画の内容の中に、学校や学級の紹介を作る内容が入っていますので、使えそうです。可能ならば地域の紹介に変えてもいいかなあ、と思っています。

【子情報3】近くに温泉のある恵まれた環境で研修会がもてるのがうらやましいです。ところで、研修会受講にかかる費用はどれくらいですか。参考程度に、集まりやすい受講金額ってあるのでしょうか。よろしかったら教えてください。

【子情報4】公共の宿を使用すると宿泊料が7000円前後。会議室の利用料と宴会料でプラス3000円。で合計10000円ってところが目安だと感じています。家族ぐるみの参加もできるようにすれば、研修と家族サービスの一石二鳥。おいしい企画だと思っています。一度やるとやめられませんか。

温泉という点も参加者の興味を引いて、より具体的な質問も寄せられました。やっぱり楽しんでやるのが一番ですね。



## 夏の研修会のお知らせ

## Web教材開発ワークショップ インタラクティブ・スタディへの招待

いよいよWeb上で対話的で質の高い教材が提供されます。回答にぴったり合ったメッセージ、理解状態に最も適した教材ページへのリンクなど、分かりやすく達成感を感じられる「インタラクティブ・スタディ」で、基礎・基本は完璧です。

主催 信州大学教育学部附属教育実践総合センター

開催日 平成14年7月27日(土)13:00 ~ 29日(月)15:00 2泊3日の合宿形式

場所 信州大学教育学部附属教育実践総合センター

対象 小学校・中学校・高校・大学および看護教育関係者

Aコース：まったくの初心者(スタディライター未経験者)

Bコース：全国各地域の夏の研修会のインストラクター

Cコース：実際に教材の開発を計画している経験者(スタディライター経験者)

看護教育関係者のための特別セッションもあります。

内容 インタラクティブ・スタディ最新情報、スタディライターによるWeb対応教材の開発、インタラクティブ・スタディ研修会の企画運営をする方のために

講師 東原義訓(信州大学教育学部教授) 余田義彦(同志社女子大学教授)他 インストラクター

その他 定員36名(先着順) 参加費3,000円(テキスト、資料代含む)

詳細は、<http://cert.shinshu-u.ac.jp/news/20020727.html> をご覧下さい。

## 筑波女子大学第一回スタディノートワークショップ

スタディノートを中心としたインターネット/校内ネット利用の授業展開[ステップアップ研修] 学校教育用グループウェア『スタディノート』の活用を中心に、インターネットや校内ネット(LAN)の授業での有効な活用法を、実践的研修を通して探ります。

開催日 平成14年8月6日(火)10:00 ~ 7日(水)16:00

場所 筑波女子大学第3情報処理演習室

対象者 小中学校の先生および教育委員会等の教育関係者でスタディノートを使って授業をした経験がある方

内容 スタディノートの特徴と背景にある教育理論、スタディノート体験(活用編)、スタディノートの研修会の持ち方、スタディノートの活用事例紹介、情報交換会・スタディノートのインターネット機能の活用法、スタディノートの様々な機能の紹介、デジタルポートフォリオ

講師 余田義彦(同志社女子大学) 山野井一夫、高藤清美(筑波女子大学)

その他 定員50名、参加費4,000円(資料代)+2,000円(2日分の昼食代)

詳細は、<http://www.kasei.ac.jp/eco/index-j.html> をご覧下さい。

## コンピュータ教育利用夏期研修会(天理研修会)

主催 21世紀教育研究所 スタディ実践研究会(仮称)(旧コンピュータ教育利用研究会)

開催日 平成14年8月21日(水)9:30 ~ 8月23日(金)15:00

場所 シャープ株式会社人材開発センター 天理研修所

対象 小中学校教職員 教育委員会の方 (コンピュータの経験の有無は問いません。)

内容 インタラクティブ・スタディ実習、スタディノート実習、コースウェア作成、実践事例の紹介他

講師 中山和彦(21世紀教育研究所所長) 東原義訓(信州大学教授) 余田義彦(同志社女子大学教授)他

その他 定員40名、参加費30,000円(宿泊費、テキスト、資料代含む)

お問い合わせは、シャープシステムプロダクト(株)文教統轄営業部 スタディ実践研究会(仮称)事務局  
TEL06-6625-3233 / FAX06-6624-0764 までお願いします。

定員に達している場合があります。ご了承下さい。

お問い合わせはそれぞれの研修会へお願いします。お申し込みはお早めに!



うれしいメールをいただきました  
岩手県二戸郡一戸町立奥中山小学校  
中川久美子先生より

『最近、またスタディを使っています。昨年度まではスタディノートを使ってきました。コンピュータ音痴ばかりの学校ですが、スタディノートはみんなに使われています。

今年度は、スタディタイムも使ってみたくらいと思い、昔を思い出して、3年生で授業をしてみせ、その後、職員の研修会を持ちました。もう10数年たちますが、ポイントは忘れず説明できた気がしています。初めての3年生も、ほんの20分ぐらいでしたが、みんなでスタディができました。

そしたら、5年生の先生がさっそく使ってくれました。「生命の誕生」コースを理科の単元の最初に使ったそうです。流れとしては、次のとおりです。

- 1 単元のはじめに、学習対象を魚にするか人間にするか個々に選択させた。
- 2 その後、このコースで学習した。(1時間)
- 3 もう一度、学習の対象を個々に選択させた。
- 4 選択にもとづいて、個々に学習を進める

すると、このコースで学習したことによって、1と3で選択が変わったということです。コースを学習したことで、この後の調べ学習が、意欲面でも内容面でも充実するのではないかと思います。疑問や学習の見通しが出てきたのではないのでしょうか。5年生の子どもたちには、「生命」はあまりにも大きすぎ、抽象的すぎるのですが、あのコースによって学習課題が見えてきたようです。こういう使い方もあるのかと、驚きました。5年担任が、このコースを見せてよかった。すんごくいいよ。とっていました。私も大変うれしくなり、みなさんに伝えたくりました。』

中川久美子先生

中川久美子先生は、玉山村立外山小学校在任中に、ECONews登録教材の「かたちづくり」「とけいのよみかた」「2次元表」「倍数と公倍数」を作成された方です。いずれもアイデアあふれる教材で、先生方の研修会でも「こんな教え方があったのか!」「うーん、目からウロコだなあ」と評判を呼ぶものばかりです。また、一戸町立奥中山小学校の教頭先生に赴任されてからはスタディノートの実践を進めていらっしゃる一方、「みちのくスタディの会」のメンバーとしても活動されています。



第51回読売教育賞 理科教育部門  
つくば市立並木小学校が優秀賞

並木小学校では、子どもたちにいろいろな科学や自然現象に触れてもらい、理科を楽しもうという取り組みがされています。昨年10月に、「科学体験教室『わくわく科学の大冒険』』として、市内の研究者や父兄約80人ほどの協力を得て、約20種類もの実験

を子どもたちが体験しました。そういった取り組みが評価され、今回の受賞となりました。

また、スタディノート実践事例ビデオで取り上げさせていただいた「花室川プロジェクト」をはじめとする環境教育も盛んで、ホームページでその様子を見ることができます。学研の小学校ホームページコンテスト「第2回学研スクール・エコネット大賞」も受賞しています。

ECONews 郵送会員登録 随時受付中

ECONewsは、21世紀教育研究所のホームページをご覧になるか、または郵送で受け取ることができます。郵送会員には、年会費1000円で、年6回発行のECONewsとECONews教材CD-ROM、スタディシリーズ試用版CDなどを無償で配付いたします。くわしくは、下記までご連絡ください。

注意 ECONews教材CD-ROMは、希望者のみの配布となっています。申し込みをされる際は申込用紙に教材CD-ROM希望とお書きになるか、その旨を当研究所までお伝え下さい。

ワールドカップも無事終了しました。会場でご覧になった先生はいらっしゃいますか? 私は残念ながら会場には見に行けませんでした。燃えました。いずれにせよおつかれさまでした。

夏の研修会が各地ではじまろうとしています。参加される先生方、がんばりましょう。お世話をしてくださる先生方、ごくろうさまです。(赤井)

Educational Research Institute for the 21st Century

21世紀教育研究所

address 〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-33-6  
TEL 0298-50-3321  
FAX 0298-50-3330  
e-mail econews@eri21.or.jp  
URL http://www.eri21.or.jp